

【ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成】

令和4年度事業 実績報告・令和5年度事業 中間報告

荒井地区における 地域企業の通勤バスを活用した 荒井モビリティの 持続化に向けた実証実験

申請団体①

一般社団法人荒井タウンマネジメント



荒井タウンマネジメント
ARAI TOWN MANAGEMENT

申請団体②

産電工業株式会社

 産電工業株式会社

1. 事業実施主体について



荒井タウンマネジメント
ARAI TOWN MANAGEMENT

- 荒井地区の長期的な価値向上につながるまちづくりの持続的に推進するまちづくり会社。2013年5月に設立。
- 主な活動内容（実績）
 - ① **コミュニティ形成事業**
 - ・ 荒井なないろマルシェ運営など
 - ② **賑わい創出事業**
 - ・ 仙台海手交流促進事業など
 - ③ **官民連携事業**
 - ・ 荒井東1号公園スポーツパーク運営
 - ④ **エコタウン事業**
 - ・ EMS事業 ・ 太陽光発電
 - ⑤ **不動産賃貸事業**



産電工業株式会社

- 電気工事業、電気通信工事業ほか制御盤・配電盤、監視・制御装置の設計、製造、関連ソフトウェア開発などの事業を行う。1952年10月創業。
- 2020年に産電ホールディングスグループ拠点「創造開発センター」完成に伴い、本社機能を荒井東地区に移転



荒井地区のコミュニティ形成、健康促進、経済効果向上を目標とし、これまでも協働・連携により、多くの取り組みを実施している

2. 事業内容について

(1) 現状の把握

- 荒井東地区南端にある産電工業(株)は荒井駅から約1.5km(徒歩約20分)の距離があり、使い勝手の良い路線バスも無いことから、自社手配による通勤バスを平日朝夕に運行(朝7:00~8:45・夕17:45~20:00)し、社員約40人が利用している。日中は通勤バスが稼働しないため、地域のニーズに応じた活用も検討したい意向がある。
- 地域の方々から荒井TMに寄せられる意見の中には「買い物に行くためには路線バスの利用勝手が悪い(バス停が遠い、本数が少ない、行先路線が無い…)」など地域交通に関する声は少なく無い。
- これらの状況を踏まえ、企業のリソースと地域のニーズをマッチング、すなわち、通勤バスの非稼働時間帯を中心に“荒井モビリティ”としての活用することで、地域住民の外出機会の増加につなげ、住民同士の交流や地域のお店等への経済効果などを目指したい。

(2) 事業の目的~最終的に目指す姿

- 荒井モビリティが持続的に運行され、地域企業従業員や地域住民の移動手段として定着し、住民同士の交流や地域のお店の活性化につながっている。

参考：これまでの経緯

令和3年度
(1年目)
課題調査検証

- 地元4町内会約2,400世帯を対象に「日中の外出と移動手段に関するアンケート」を実施。有効回答686件。
- 買物頻度「週に2~3回」が約50%、自宅から直接買物に行く方が10-11時台&14-16時台に多い等が分かった。

令和4年度
(2年目)
SB的手法

- 下記のような運行内容の仮説を立て、モニター46名の参加を得て実証実験(11/1-12/7、火・水曜日の10-12時&14-16時)
 - ①買物に行く方を対象に、週2日程度10-11時台&14-16時台に運行
 - ②貸切バス(道路運送法における一般貸切旅客自動運送事業)で運行
 - ③利用者はスマホから操作し、乗車&降車スポットを指定
 - ④利用者にICカードを貸与し、乗降時タッチにより運行データ取得
 - ⑤月額利用料を設定
- モニターアンケートでは、乗車スポットの分かり難さや専用サイトの使い方や利用方法への不満の意見はあったが継続したい意向が過半数。また、今回の運行内容の場合、月額料金の許容価格は600~1,000円という結果だった。

令和5年度
(3年目)
SB的手法

- 令和4年の実証実験やアンケート調査の結果をふまえて、運行内容やスポット増設、システム、専用サイトの改善などを行い、実証実験を前半と後半に分けて実施。
- 前半は、モニター74名の参加を得て、9/5-28、火・水・木曜日の9:30-12:00&13:30-15:00運行。モニターアンケート実施

3. 令和4年度の実施内容

(1) 令和4年度事業の実施により目指す姿

- 通勤バスの非稼働時間帯を活用した地域モビリティの運行内容と地域ニーズの整合を確認でき、その運行体制及び運行システムの持続性に向けた課題が整理されている。

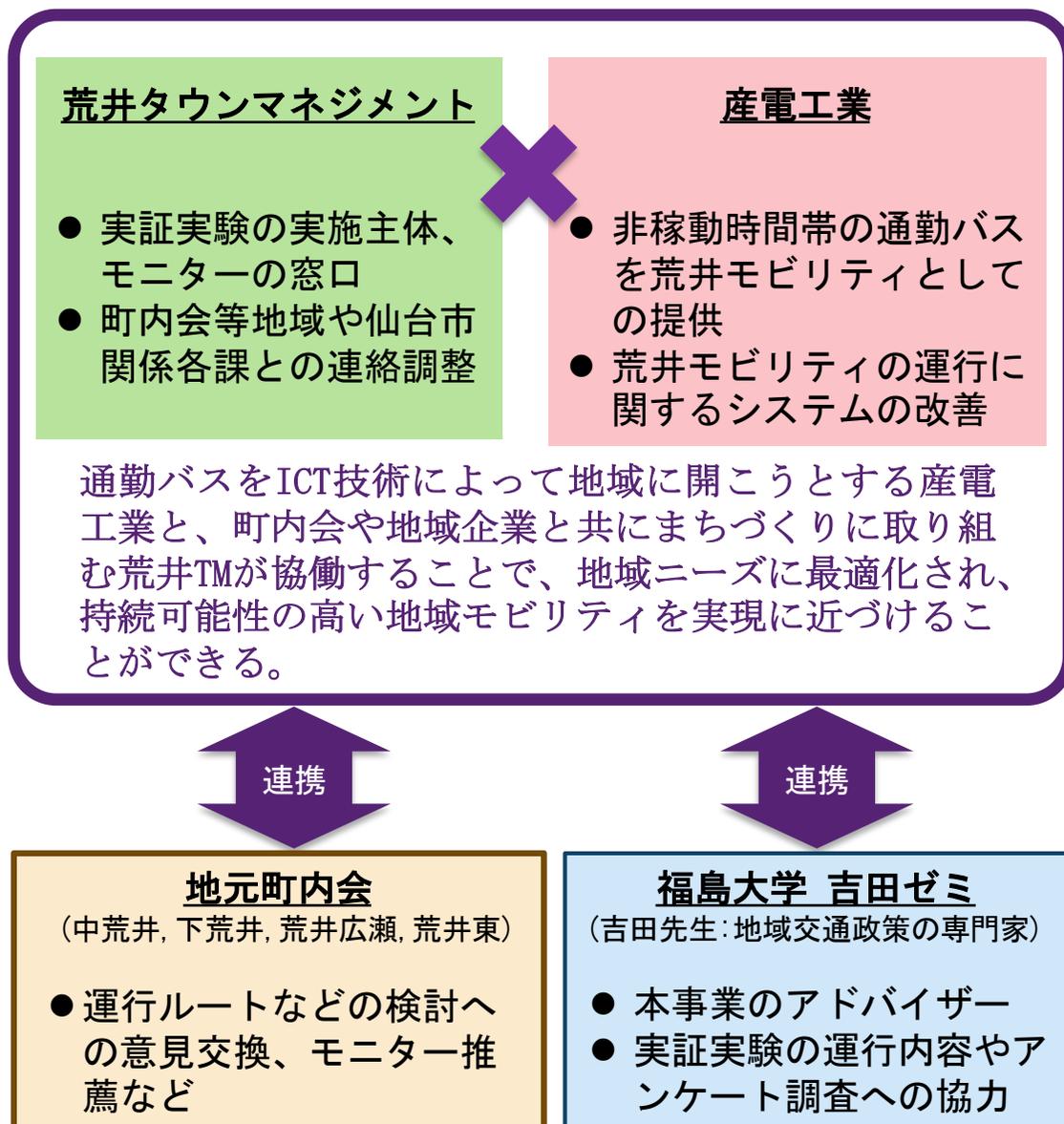
(2) 令和4年度事業の目標

1. 町内会の協力を得て、約30名の実証実験協力者(モニター)を対象として、運行内容やシステムの使い勝手などの課題を把握する。
2. 運行システムの開発が行われ、実証実験を通じてユーザビリティ(利用者の使い勝手)の改善箇所が整理されている。
3. 最適な運行ルートや停車ポイントなどの仮説が設定されている。

(3) 令和4年度事業の全体スケジュール

	(a) 運行内容検討と モニター選定	(b) システム開発 と検証	(c) アンケートによる 課題の整理	専門家によるアドバイス
6月	運行内容の検討	システム開発 内部検証/改善		
7月				7/13: 事業全体アドバイス
8月	モニター募集チラシの作成			
9月	募集チラシ(3千部)配布 町内会会合等で説明			9/6: モニター募集やシステム、 運行内容等アドバイス
10月	モニターへの使い方講習会	10/21: 地域モビリティ試験運行		福島大学吉田ゼミ学生参加
11月	11/1-12/7: 地域モビリティの実証実験			11/23: 実証実験中間データ共有、 アンケート等アドバイス
12月	12/14-22: デポジット返金		12/14-22: アンケート調査	※アンケート調査には吉田ゼミ学生 が参加しモニターへ聞き取り
1月				アンケート 集計・分析
2月				
3月	会計確認、実施報告の作成			3/2: 学生によるアンケート結果 報告、次年度アドバイス

(4) 事業の実施体制



(5) 収支決算

事業費総額 3,335,004円

収入内訳

・ 助成金	3,000,000円
・ 自己負担	335,004円

支出内訳

・ 人件費	338,500円
・ 報償費	650,880円
・ 印刷製本費	299,200円
・ 通信運搬費	8,134円
・ バス使用料	804,100円
・ 設備備品購入費	1,098,190円
・ その他経費 (保険料)	136,000円

4. 令和4年度の取り組み紹介

荒井モビリティ実証実験の概要

- ・ 運行期間：令和4年11月1日～12月7日の火曜日と水曜日、合計12日間
- ・ 運行時間：午前便10～12時、午後便14～16時
- ・ 運行形態：**貸切バス**（道路運送法における一般貸切旅客自動運送事業）
- ・ モニター：**46名**、ICカード貸与(デポジット500円)
- ・ 乗降スポット：商業施設、公園、荒井駅など**24箇所**
- ・ 利用方法
 - 1) 専用サイトからスマホで申し込み
 - 2) 指定した乗車スポットにバスが到着
 - 3) ICカードを読取機にタッチして乗車
 - 4) 目的のスポットで降車
 - 5) 帰宅時にも利用

R4実証実験用のバス



令和4年度モニター募集チラシ

\\ 荒井地区を移動が便利な街にしませんか? //

企業の通勤バスを活用した日中の移動手段
荒井モビリティの事業化に向けた実証実験への

モニターを 募集します (協力者)



モニター募集期間 10.17月まで
モニター実施期間 11.1火~12.7水
の火曜日と水曜日
10:00~12:00, 14:00~16:00
募集人数 50人
参加費 無料
*デポジット(預り金)が別途500円必要です

対象 中荒井町内会、下荒井町内会、荒井広瀬町内会、荒井東町内会の方々

荒井モビリティの利用方法は簡単です!

STEP 1 荒井モビリティを利用したいときに専用サイトからスマホで申し込みます。

STEP 2 指定した最寄りの乗車ポイントにバスが到着します。支給したICカードを乗降口のカード読み取り部にタッチして乗車します。

STEP 3 目的地で下車します。お帰りの際にもご利用ください。

独自システムを利用
*画面等はイメージです

詳しくは説明会があります

モニター(協力者)にご協力いただきたいこと

- 日中の買い物などの移動手段として荒井モビリティをご利用ください。
- ご利用に際して、スマホ操作が必要です。
- 利用方法やスマホ操作に関する説明会への参加と、アンケートへの回答をお願いします。
- 専用ICカードのデポジット(預り金)500円が必要ですが、実証実験終了後、ICカード返却の際に500円を返金いたします。

お問合せ先 荒井タウンマネジメント
ARAI TOWN MANAGEMENT

〒984-0032 仙台市若林区荒井七丁目37番地の1 アライデザインセンター-202号
Tel.022-352-4774 E-mail.info@arai-tm.com

応募方法などは裏面をご覧ください▶



荒井モビリティとは?

荒井モビリティとは、荒井地区を対象に、住民の外出機会の増加や住民同士の交流、地域のお店等への経済効果などを目的し、地域企業が運行する通勤バスの稼働しない日中の時間帯を活用して運行するものです。

今年度は、地域交通政策の専門家のアドバイスを受けながら、地域の方々からモニター(協力者)を募り、試験的に運行内容などの実証実験を行います。



乗車ポイント(予定)

- ① 産電工業
- ② 荒井東市営住宅
- ③ サンマルシェ
- ④ 仙台ギグス
- ⑤ 地下鉄東西線 荒井駅
- ⑥ 荒井五丁目公園前
- ⑦ 伊在二丁目公園前
- ⑧ コメダ珈琲 仙台荒井店
- ⑨ 七郷中央公園
- ⑩ ファミリーマート 仙台荒井西店
- ⑪ みやぎ生協 荒井店
- ⑫ ヤマザワ荒井店
- ⑬ セブンイレブン 仙台荒井梅ノ木店
- ⑭ ハードオフ 仙台荒井店
- ⑮ 西松屋仙台荒井店
- ⑯ まるまつ 六丁の目店
- ⑰ スーパービッグ 六丁の目店
- ⑱ ローソン 仙台伊在店
- ⑲ ヨークベニマル 六丁の目店裏
- ⑳ セブンイレブン 仙台六丁の目東店
- ㉑ かの耳鼻咽喉科 クリニック
- ㉒ 荒井市営住宅
- ㉓ ファミリーマート 若林荒井店
- ㉔ ツルハドラッグ 仙台荒井東店

○ モニター(協力者)お申し込み方法 ○

- 右のQRコードを読み取り、Google フォームに必要事項を入力して送信してください
- 下の申込書に必要事項を記入の上、FAX送信してください

荒井モビリティ実証実験モニター(協力者) 申込書 FAX.022-352-4789

名前		性別	男・女	年齢	歳
住所	〒 - - - - -				
携帯番号	-	-	-	メール	@

▼運行システム操作画面



▼荒井モビリティの車内の様子



▼モニターへのアンケート調査の様子



乗りますスポット：



(1) 産電工業

降りますスポット：

(5) 荒井駅北口

バス到着まで

約 0 分

通勤バス 住民の足に

仙台市若林区の市地下鉄東西線荒井駅周辺を回る地域交通システム「荒井モビリティ」の実証実験が1日、始まった。地元企業を中心とした民間の試みで、朝夕に使われる社員用送迎バスを空き時間の昼間に活用し、住民の足に生かすのが狙い。12月7日まで、水曜限定で運行し、本格実施に向けた課題を探る。

一般社団法人荒井タウンマネジメント(TM)や電気工業の産電工業(若林区)が取り組む。運行は、水曜の午前10時～正午と午後2～4時。産電工業が朝夕、荒井駅と約1・5キロ南にある同社間で運行する社員向けバスを貸し切りバスとして使用する。

利用は事前登録制で、乗車時に必要なICカードの

仙台・荒井 企業が地域交通システム構想

預かり金500円を払えば、**トフォンの専用サイト**で、無料で乗車できる。スマー荒井駅やスーパー、公園、**昼間の空き時間活用**



来月7日まで実証実験 火、水曜限定

医療機関、市営住宅など計24カ所から乗降地点を選択して予約すると、乗車地点にバスが到着する。

荒井地区の約3000世帯を対象に乗車モニターを募集し、20～80代の住民45人が登録。初日は午前と午後延べ24人が利用した。

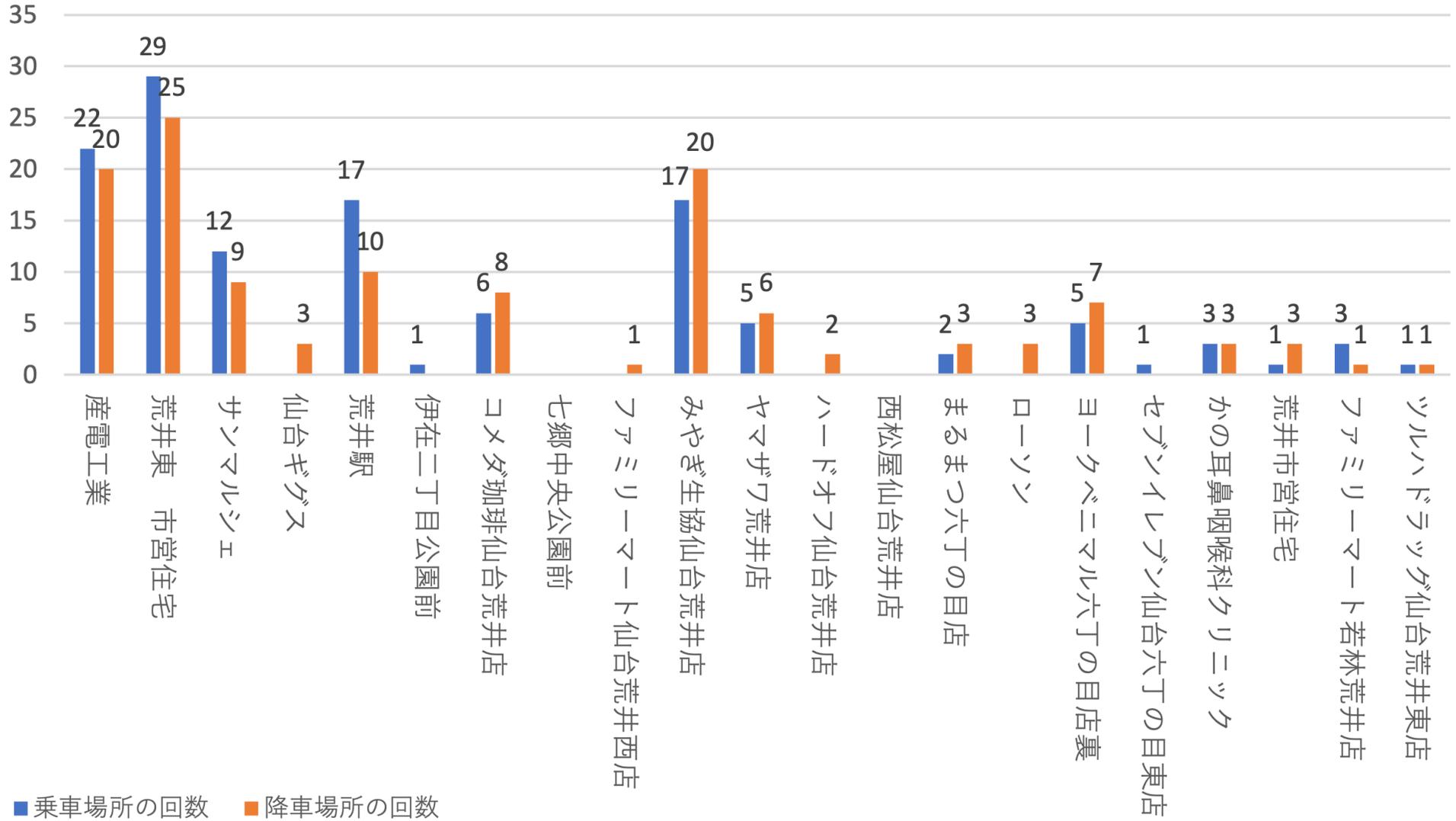
産電工業の高橋昌勝社長(68)は2020年12月の通勤バス導入時から地域交通システムの構想を練ってきたという。「乗客の需要や利用頻度を把握し、今後に役立てたい」と話した。

実証実験は市の地域づくり関連の助成を受ける。荒井TMの和井内貞明代表理事(76)は「住みやすいまちにするには、移動手段の確保が重要。地域の住民や事業者の協力を得ていきたい」と語った。

荒井地区で始まった地域交通システムの実証実験 1日午前、仙台市若林区

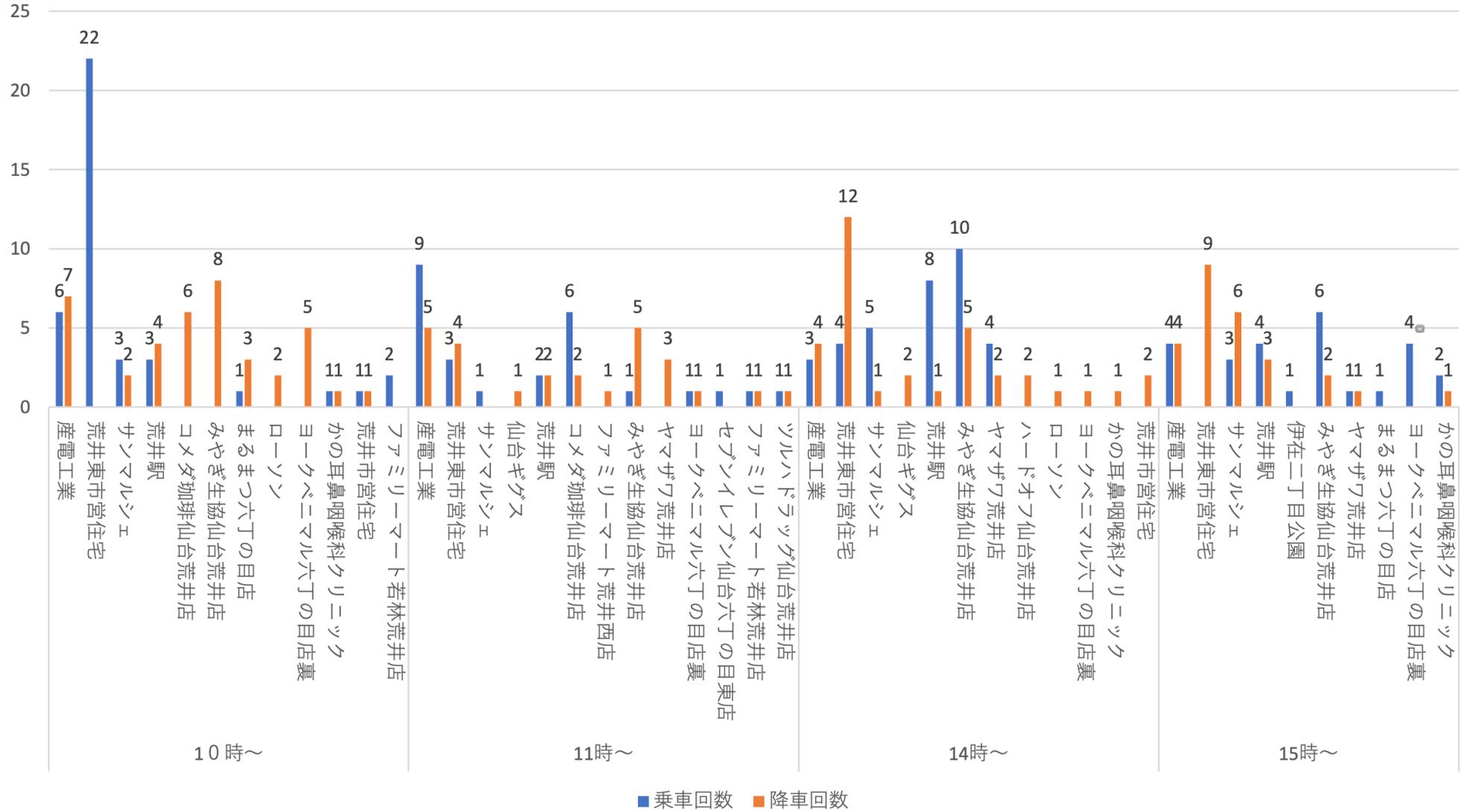
令和4年度の運行データの例

各スポットの乗車降車回数



令和4年度の運行データの例

各時間帯の乗車降車回数

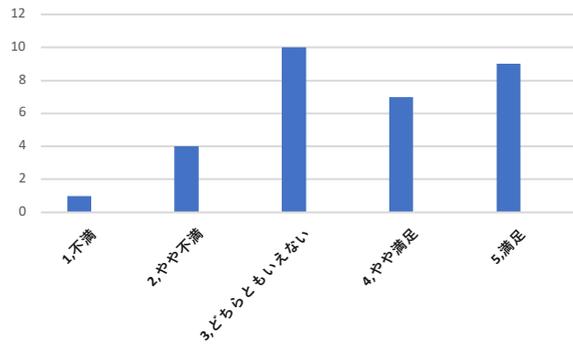


令和4年度のモニターアンケート調査結果のポイント

(4) 満足度について

- バス停が停車する位置について、乗車位置まで遠いという意見があった。
- 専用サイトについて不満の声があった。
- バスを予約するタイミングが難しいと感じている人が多いことが分かった。

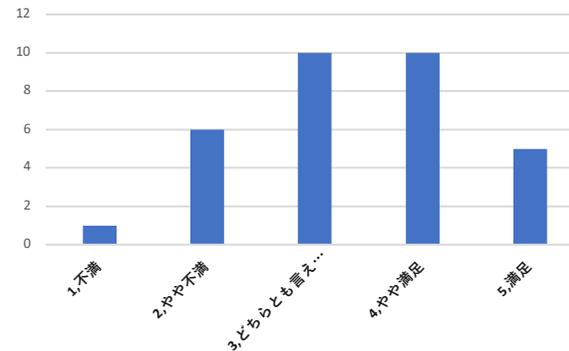
第2問(1)バス停の数は十分だったか



利用者の声：

- バス停についてから予約すると待ち時間が生じる。
- バス停からの距離が遠い。

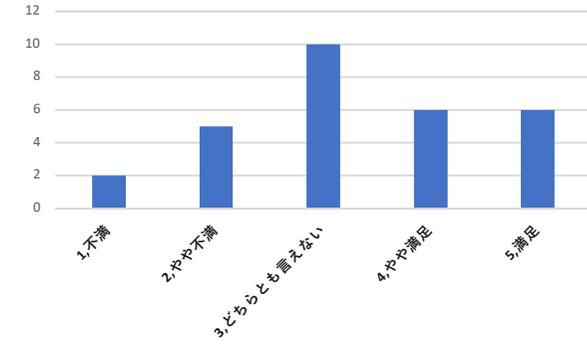
第二問(2)バスが停車する位置が分かりやすかったか



利用者の声：

- もう少し近い所にバスが止まればよい。
- 土地勘がない人にとっては分かりづらかった。

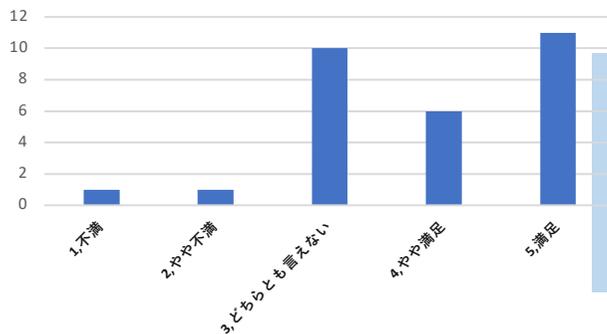
第二問(3)予約に使った専用サイトは使いやすかったか



利用者の意見：

- ログイン画面などをもっと分かりやすくしてほしい。
- 予約ができたかが不安で二回押してしまった。

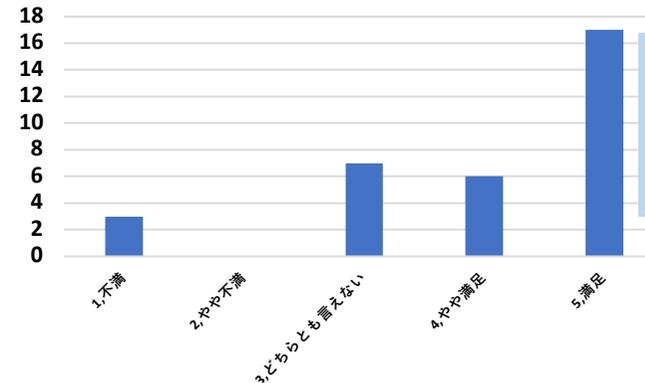
第二問(4)サービスの利用方法は分かりやすかったか



利用者の意見：

- サービス自体は良かったが、アプリの面でてこずった。
- やり方が分からず、会員登録ができなかった。

第二問(5)今後も、このサービスを利用しますか



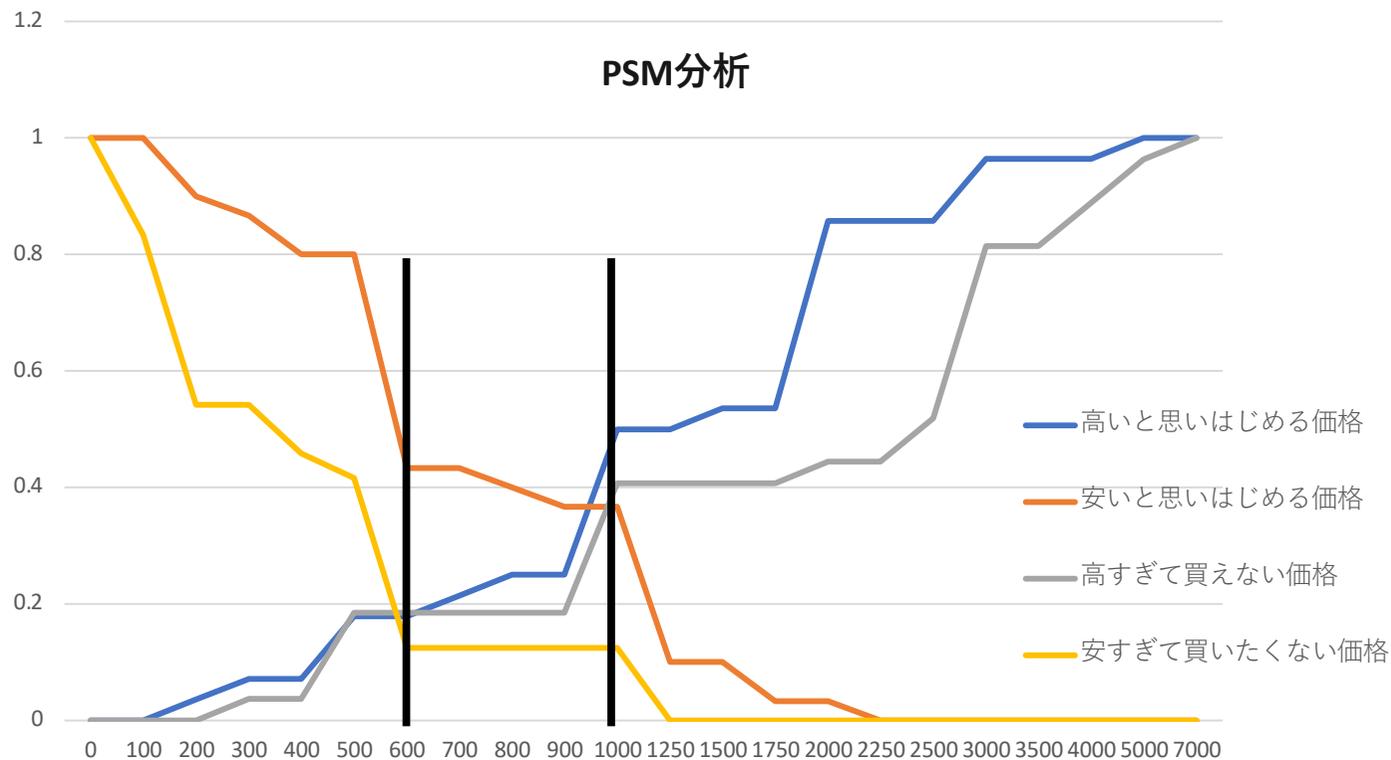
利用者の意見：

- もう少しいける範囲を広げてほしい
- もう少し時間を長くしてほしい

令和4年度のモニターアンケート調査結果のポイント

(7) 料金について

概要：月額料金として利用料金を徴収することとなった場合の安すぎる、安い、高い、高すぎると感じる値段について調査した。



結果：許容価格は600円から1000円という結果となった。

4. 令和4年度の事業の成果と今後の課題

(1) 事業の成果

	当初目標	●成果 ■課題 (R5事業に反映)
R4年度事業の実施により 目指す姿 (事業の目的)	A) 荒井モビリティの運行内容と 地域ニーズの整合を確認	●モニターアンケートでは過半数が継続 希望→ニーズとのマッチを確認 ■ベターな運行曜日や時間帯等の見極め
	B) 運行体制及び運行システムの 持続性に向けた課題を整理	●運行システムを開発 ■持続化を見据え3つの収入源を想定
R4年度事業の 目標	1) 約30名のモニターを対象に、 運行内容やシステムの使い勝手 などの課題を把握	●モニター46名の協力で、実証運行やア ンケートなどを実施し改善点を把握
	2) 運行システムの開発が行われ、 実証実験を通じてユーザビリ ティの改善箇所が整理	■呼び出しシステムへの毎回のログイン が煩雑→QRでログインに変更
	3) 最適な運行ルートや乗降ス ポットなどの仮説が設定	●運行ルートはAIで最適化 ■乗車スポットの増設で利便性を向上

5. 令和5年度事業の実施状況

(1) 令和5年度事業の目標

1. 令和5年度は、町内会の協力を得て、**約100名の実証実験協力者（モニター）の参加を目標**に、運行内容やシステムの使い勝手、月額利用料などについてニーズを把握する。
2. **乗降スポットを約50箇所を増設し、夏季を含む3ヶ月間超の運行期間**とするなど、荒井モビリティの実証運行の拡大を図る。
3. 実証実験を通じて**ユーザビリティ（利用者の使い勝手）の改善**されている。

◆地域交通政策の専門家のアドバイスを受けながら、荒井モビリティの持続化を見据え、**3つの収入源を想定した実証実験**

- ① **朝夕に通勤バスとして運行する際の利用企業負担金**
- ② **日中の荒井モビリティとして運行する際の利用料（月額）**
- ③ **車内広告協賛**

令和5年度モニター募集チラシ

\\ 荒井地区を移動が便利な街にしませんか? //

企業の通勤バスを活用した日中の移動手段

荒井モビリティの持続化に向けた実証実験への

モニターを募集します

(協力者)



今年もやるっ!

居久根の妖精いくねっち

モニター募集期間

7.31月まで

前半

モニター実施期間

9.5火~28木の火・水・木曜日
9:30~12:00と13:30~15:00

11月に後半を予定しています

参加費

無料

※デポジット(預り金)が別途500円必要です

ログイン方法が簡単になりました!

荒井モビリティの利用方法は簡単です!
ICカードのQRコードからワンタッチログイン
ID・パスワードの入力が必要ありません

STEP 1

荒井モビリティを利用したいときに専用サイトからスマホで申し込みます。

独自システムを利用
※画面はイメージです



STEP 2

指定した最寄りの乗車スポットにバスが到着します。支給したICカードを乗降口のカード読み取り部にタッチして乗車します。



STEP 3

目的地で下車します。お帰りの際にもご利用ください。



詳しくは説明会があります

モニター(協力者)にご協力いただきたいこと

- 日中の買い物などの移動手段として荒井モビリティをご利用ください。
- ご利用に際して、スマホ操作が必要ですが、
- 利用方法やスマホ操作に関する説明会への参加と、アンケートへの回答をお願いします。
- 専用ICカードのデポジット(預り金)500円が必要ですが、実証実験終了後、ICカード返却の際に500円を返金いたします。

昨年度参加者の声

- 興味深い体験だった。また、利便性を感じた。
- 今後積極的に利用したいと思う。
- 楽しかった
- 公共バスが減便していく中で、このような取り組みは大変有意義であり、社会的な役割を担うものだと思う。

お問合せ先 荒井タウンマネジメント ARAI TOWN MANAGEMENT

〒984-0032 仙台市若林区荒井七丁目37番地の1 アライデザインセンター202号
Tel.022-352-4774 E-mail.info@arai-tm.com

応募方法などは裏面をご覧ください▶



荒井モビリティとは?

荒井モビリティとは、荒井地区を対象に、住民の外出機会の増加や住民同士の交流、地域のお店等への経済効果などを目指し、地域企業が運行する通勤バスの稼働しない日中の時間帯を活用して運行するものです。

今年度は、地域交通政策の専門家のアドバイスを受けながら、地域の方々からモニター(協力者)を募り、試験的に運行内容などの実証実験を行います。



乗車スポットが増えました!

乗車スポット(予定)

- | | | | |
|-------------|------------|----------------|----------------|
| ① 荒井駅 | ⑪ みやぎ生協 | ⑲ サンピアの湯前 | ⑳ ハードオフ |
| ② クリーニングホワイ | ⑫ 長喜城住宅1 | ⑳ 荒井郵便局 | ㉑ ダイソー |
| ③ オラクル | ⑬ 長喜城住宅2 | ㉒ 七郷市民センター前 | ㉒ 荒井児童館前 |
| ④ 仙台整形外科病院前 | ⑭ ヤマザワ | ㉓ デザインセンター前 | ㉓ 日本住宅株式会社前 |
| ⑤ 看護学校前 | ⑮ ツルハドラッグ | ㉔ 荒井東市営住宅 | ㉔ タイヤガーデン前 |
| ⑥ MMC前 | ⑯ 産電工業 | ㉕ Tsレディースクリニック | ㉕ 荒井三丁目公園 |
| ⑦ スーパービッグ | ⑰ 募金仙台病院 | ㉖ 七郷クリニック | ㉖ 七郷神社 |
| ⑧ 佐藤歯科医院 | ⑱ 仙台ギグス前 | ㉗ 社の都信用金庫前 | ㉗ ザイコア |
| ⑨ KUMON前 | ⑳ ビルドプロ | ㉘ 尾家産業仙台支店前 | ㉘ プリチストン前 |
| ⑩ 陽山鍼灸治療院 | ㉑ 開拓家 | ㉙ 佐藤自動車前 | ㉙ かの耳鼻咽喉科クリニック |
| ⑪ 蒲町小学校前 | ㉒ 伊在2丁目公園前 | ㉚ 鈴木クリニック前 | ㉚ 荒井七丁目公園前 |
| | ㉓ 山形銀行前 | | |

モニター(協力者)お申し込み方法



● 右のQRコードを読み取り、Googleフォームに必要事項を入力して送信してください



● 下の申込書に必要事項を記入の上、FAX送信してください

荒井モビリティ実証実験モニター(協力者)申込書 FAX.022-352-4789

名前		性別	男・女	年齢	歳
住所	〒 -				
携帯番号	-	メール	-	@	

5. 令和5年度事業の実施状況

(2) 令和5年度事業の実証実験

乗車スポット：45箇所(R5)←24箇所(R4)
モニター：74名(R5)←46名(R4)

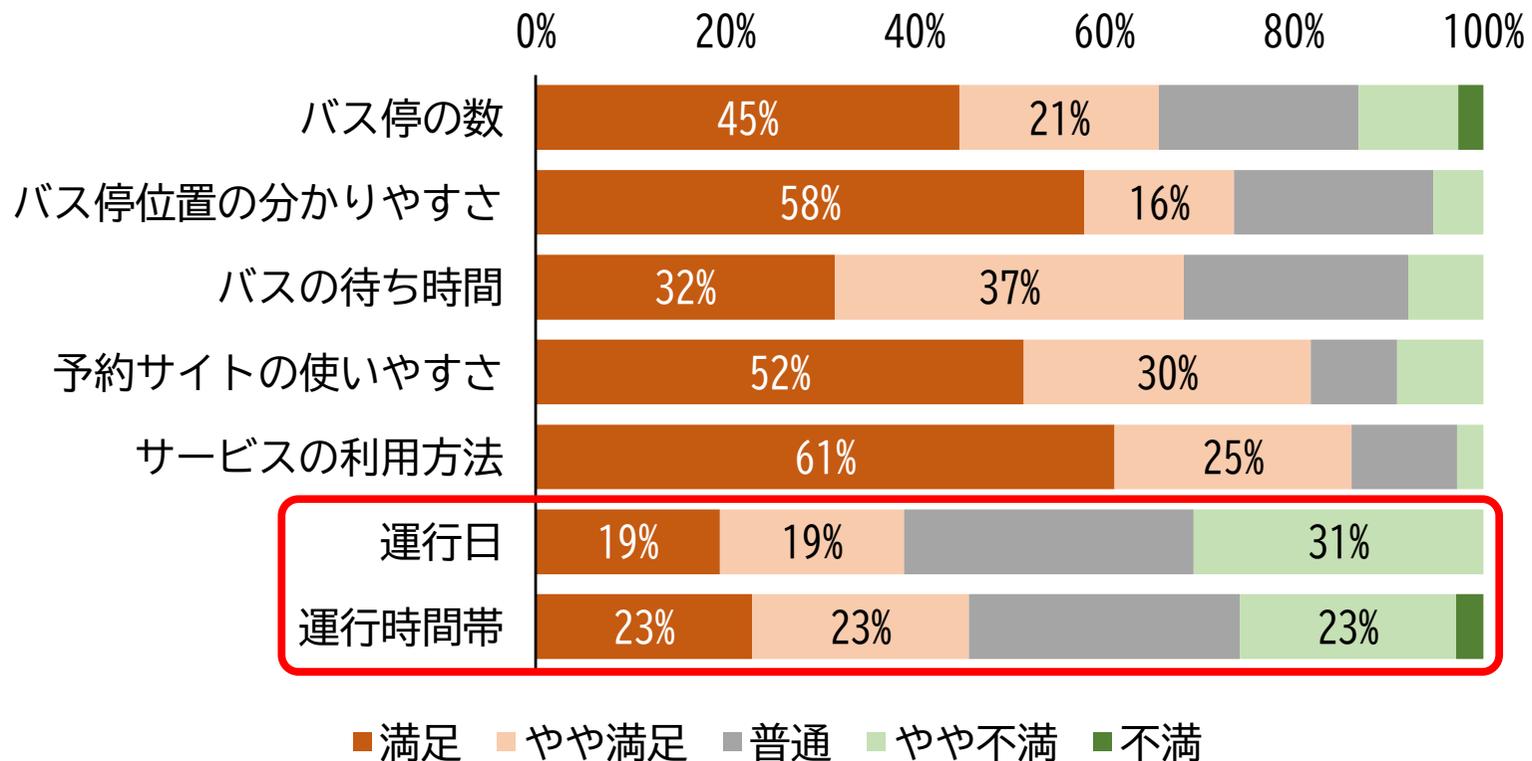


区分	期間	運行曜日	呼出可能時刻	
			午前	午後
前半	9月5日(火)	火曜日	9:30	13:30
	～ 9月28日(木)	水曜日 木曜日	～ 12:00	～ 15:00
前半モニターアンケートの実施 (9/27,28) →後半の運行内容に反映				
後半 (予定)	11月15日(水)	月曜日	10:00	13:30
	～ 12月13日(水)	水曜日 金曜日	～ 12:00	～ 15:30

「荒井モビリティ」への満足度

■ 項目別評価

- ◆ 昨年度の実験から継続して参加する方も多く、サービスの利用方法自体に関わる「不満」は少ない
- ◆ 他方で、**運行日や時間帯に関する満足度が相対的に低い**



満足度が低い「運行日」に関する意向

■ 回答者の「運行希望曜日」(2つまで回答可)

◆ 有効回答者の**6割**が「**金曜日**」を希望。「**月曜日**」も**半数弱**を占める

→ 現行の運行日(火・水・木)以外の曜日が選択。毎日運行でなければ「**月・水・金**」が妥当

月曜日	48%
火曜日	29%
水曜日	29%
木曜日	19%
金曜日	62%

有効回答：n=42

アンケート調査の「自由記述」からの抜粋

- 可能なら土日
- 金曜日が希望(病院通院に使用したかった)
- 金曜日でも出来れば運行してくれると便利かと思いました。
- 次回は月か金どちらかも運行していただけると助かります。
- 週末に出かけることが多いので、金曜日でも運行してもらえると助かる。
- ボランティア活動を土日に行っているため、土日も走ってくれたら嬉しい
- 続けての運行日ではなく、一日おきぐらいに運行してほしい
- 続けての日は無理です。
- 土日に利用できたら、と思ったことが何度かありました。
- 予定がある日が金曜日が多かったため使用できなかった。

本格運行を見据えた価格への評価

■ PSM分析に基づく「許容価格」の推計

◆ 今回のサービス水準を前提に「荒井モビリティ」を月額料金で利用する場合を想定して、回答者の「許容価格」を推計

→ 一月・一人あたり【886円～1,500円】が許容価格

参考：前年度の許容価格は【600円～1,000円】

